



だるまに込める、生きる力

—白根学園・風の丘がつなぐ地域の伝統—



地域の伝統工芸・白根だるまの制作に取り組む「風の丘」。利用者の力を生かした丁寧なものづくりと、支援者たちの想いを通じて、ここには“地域とつながる福祉”の姿がありました。歴史がつかないできた想いを施設長の奥典彦さんと支援員の原田光司さんに伺いました。



施設長・奥さん。「『支援対象者が幸せになれること』と、自分で考えたことを形にできる。それが福祉の仕事の一番の面白さだと思います。」

点のもと、利用者一人ひとりの個性が活かせる場がつくられているのです。中には、顔の絵付けまで担えるようになった人も。表情の描き方には一人ひとりのこだわりが表れ、ある利用者は「鈴」の部分に何度も「千」と書き込むなど、唯一無二の作品が生まれています。

達成感と笑顔を生む「売れる」経験



風の丘のだるまは、大鷲神社の西の市・白根神社の初不動（だるま市）や選挙祈願などでの販売のほか、職員や地域の人々の要望でオーダーメイドも行われています。手乗りサイズの豆だるまから、大きなだるま、カラフルな色合いや招き猫バージョンなど、サイズやバリエーションも豊かです。

「自分が作っただるまが誰かに買われていく」——その瞬間は、利用者にとって大きな達成感につながります。「販売会には利用者にも同行してもらいます。売れる様子を自分の目で見て、誇らしそうに『見て見て！』と笑顔を見せてくれるん

誰もが関われる「風の丘」の日常活動と、だるまづくりのはじまり

神奈川県横浜市を拠点に、60年以上にわたり障がいのある人の暮らしを支えてきた社会福祉法人白根学園。始まりは知的障がいのある児童に教育を施したいという想いからでした。現在は、横浜市旭区を中心に入所支援、生活介護事業、就労継続支援B型など多数の事業所を構えています。その一事業所である「風の丘」では、生活介護事業所として、障がいのある人が日中の時間を豊かに過ごすための支援を行っています。

ここに通所するのは、知的障がいや自閉スペクトラム症、ダウン症などの障がいがある人々。現在は、年齢や特性もさまざまな79名が登録し、60名ほどの方が日々通所し、「帆」「颯」「颯」の4つの作業班に分かれて、それぞれの力を活かした作



風の丘で日中活動を行う「帆」と「颯」班の皆さん



業や活動に取り組んでいます。その中でも特徴的で40年以上続くのが、「白根だるま」として親しまれるだるまづくりです。地域の白根神社がかつて行っていた「だるま市」にヒントを得て、「障がいのある人も地域に貢献できる仕事」と始まったこの取り組みは、今では白根学園を象徴する活動へと育ちました。

**卵パックから、色とりどりのだるまへ
細やかな工程と、支援の工夫**

風の丘のだるまづくりは、卵パックの回収から始まります。地域や近隣企業から無償で提供されるパックを、利用者がちぎり、シュレッダーにかけ、水で溶いて粘土状にします。その粘土を型に詰めて乾燥させた後、下塗り・上塗り、そして専門の職人による顔書きと工程を重ねて、1体のだるまが完成します。

「作業は利用者の特性に合わせて細分化されています。たとえば、紙をちぎる」「粘土を詰める」「一部分だけを塗る」といった工程にも、必ず意味があるんです」と話すのは、支援員の原田光司さん。作業が難しい場合には、治具（補助具）を使ってサポートし、できることを少しずつ増やしていきます。

「この人はこれしかできない」とは考えません。どうすればできるかにつながるかをいつも考えています」。こうした視

です」と原田さんは語ります。

中には、シュレッダー作業で折り紙を混ぜてしまったことから偶然生まれた「ミックスカラー」のだるまを褒められ、自信を持った利用者も。日々のやりとりの中で褒め、励まし、本人の世界を広げていく関わりが大切にされています。

職員たちの共通認識は「放置しないこと」。忙しい中でも利用者と丁寧に関わり、支援の主語は常に「人」であるという原点が守られています。

福祉の枠を超えて、誇れる仕事へ

「だるま制作の魅力は、工程が細かく分かれていて、どんな方でも関わること。そして、商品としての評価を受けられることです」と語るのは、施設長の奥典彦さん。慈善的な支援ではなく、物としての価値がきちんと伝わることの意義を強調します。

「福祉の枠の中だけで完結するのではなく、社会の中へはみ出していく。その積み重ねが、利用者の働く喜びや、職員



支援サプリーダー・原田さん。「子どもたちの伸びやかな姿に心を動かされ、支援の現場のかけこよさに憧れてこの道を選びました。」



社会福祉法人白根学園 風の丘

神奈川県横浜市にある障がい福祉サービス事業所。生活介護を中心に、利用者一人ひとりの特性に合わせた日中活動を展開。伝統工芸の白根だるま制作など、地域とつながる活動にも力を入れている。
<https://www.shirane.or.jp/facilities/kazenooka/>



このらぶチャンネル

「この子にとってプラスになる」
このはさんと家族が歩む、21年の記録

重度知的障がいのある娘・このはさんと共に歩む家族の
日常を、温かくリアルに発信するYouTubeチャンネル
「このらぶチャンネル」。21年にわたる子育ての中で感じた
成長や困難、そしてそれを乗り越える道のりについて、
お母様にお話を伺いました。幼稚園教諭の経験も持つお母様が、
丁寧な言葉で語る家族の絆と、発信に込める思いに迫ります。



子育てと「このらぶチャンネル」
誕生秘話

重度知的障がいのあるこのはさんは、生まれる前に横隔膜ヘルニアと診断され、2003年10月に誕生しました。直後にコルネリア・デ・ランゲ症候群(CdLS)と診断され、多くの病氣と闘いながら成長してきました。特別支援学校を卒業し、現在は生活介護型事業所に通っています。

「このらぶチャンネル」を始めたきっかけは、お母様自身の経験にありました。このはさんが生まれたばかりの頃、初めて聞く病名に不安な日々を送る中で、同じような境遇の方の発信に出会い、心が軽くなった経験があったといいます。「子供の成長の先が見えるっていうのは、親として本当に心の支えになりましたし、やっぱり親の心の安定って子育てにすごく大きく影響を与えちゃうんです」。この経験から、今度は自分たちが発信することで誰かの役に立ちたいという思いが芽生え、YouTubeチャンネルを始めるに至りました。

YouTubeを始めてから、このはさん自身も自分の動画をよく見るようになり、記憶力が向上したり、動きを真似ることが上手になるなど、意欲的な変化が見られるようになったと、お母様は喜びを語ります。

視聴者との温かい繋がりと、
発信の葛藤

視聴者から「このはちゃんの笑顔に癒されました」「勇気をもらいました」など多数の声が届く中で、お母様が特に印象的だったのは、ご自身の接し方を参考に、痙攣を起こしたお子さんを落ち着かせることができたという声でした。また、外に出ることをためらっていた方や不登校だった学生から、お出かけ動画をきっかけに「ちょっと出てみようと思います」「このはちゃんを見て頑張ってます」「このはちゃんというメッセージがあったことも。視聴者の声に感謝と発信を続ける意義を感じたといいます。



はさん自身も外出がより楽しくなり、人見知りが軽くなる変化も感じているそうです。

観察から見える日々の成長、
一歩一歩を大切に

このはさんとの暮らしでお母様が最も大切にしているのは「日々観察すること」です。このはさんは会話でのコミュニケーションが難しいため、体調や気持ちの変化をなるべく見落とさないよう、常に注意を払っているといいます。「日々を追われると表面の行動だけで判断しがちですが、一呼吸おいて、水面下ではどんなことを感じてるんだろうと、いつも考えるようにしています」。

このはさんと「意思疎通ができた」と成長を感じる瞬間は喜びを隠せません。例えば、「もうちょっと待ってね」と説明すると、止まって待っていてくれるなど、行動で「通じた」と感じるたびに、「理解できることが増えているんだなってすごく嬉しくなります」と語ります。

今の課題の一つは、このはさんが自身の感情と向き合うこと。課題や困難を乗り越えるため、インターネットと同じような状況の人々の対応策を調べたり、職員さんに相談したりして、トライアンドエラーを繰り返しているといいます。最近では、このはさんが苦手な「咳やくしゃみの音」に対するパニックを和らげ

るため、手遊びや布団に潜るなどの対処法を試行錯誤し、このはさん自身が一人でできるようにする姿を見守るなど、一歩一歩を大切にしています。

その人のまま、丸ごと大切に
できる社会になってほしい

「このらぶチャンネル」は、お母様にとって「娘の記録」であり、「皆さんと繋がる場」です。視聴者の方々と繋がり、共にゆっくり歩んでいきたいという思いが込められています。「こうすればうまくいくよ」という答えを伝えたいわけではなくて、うちみたいにくまうかいかないこともあるよねっていう。それでも何か自分たちのペースで休みながら一緒に歩んでいけたら。そんな思いを届けたいと今は思っています」と語ります。

「不安を抱えている
ご家族は本当に多い

これから
リアルな日常を
チャンネルで
届けていきます！



このらぶチャンネル

重度知的障がいのあるこのはさん(21歳)とご家族の日常を発信するYouTubeチャンネル。「重度知的障がいのある子との暮らしや、コルネリア・デ・ランゲ症候群(CdLS)をもっと知ってもらいたい」という思いで発信を続けている。

YouTube: <https://www.youtube.com/@konolove1023>

Instagram: <https://www.instagram.com/konolove5>



1名様 PRESENT



このらぶチャンネル
オリジナルペンポーチ

詳しくはP.31

漫画家 カレー沢薫が描く

『なおりはしないが、ましになる』

発達障がい診断から紐解く、自分らしい生き方

『なおりはしないが、ましになる』という作品で、自身の発達障がいと向き合う日常を描く漫画家カレー沢薫さん。診断を受ける前の生きづらさや、診断後の心の変化、そして特性とどう向き合っているのか。ありのままの姿で多くの読者の共感を呼ぶカレー沢さんに、これまでの歩みと作品に込められたメッセージについて伺いました。



漫画家としての始まりと、ありのままの創作活動

カレー沢さんが漫画家になったのは約15年前のこと。幼い頃からの夢だった漫画家への道を、一度は会社勤めを経験した後、空白期間に「やったことがないことをやってみよう」という思いで漫画を投稿したことがきっかけで拓きました。それが現在に繋がったといいます。

普段の生活リズムは「朝起きて夜寝る」ことは決まっているものの、時間の配分に課題を感じていると語ります。「仕事と休憩のメリハリがつきにくく、休みなくダラダラと仕事をしてしまったり、集中力の低さが大きな課題です。好きなスマホゲームなどが邪魔をして

しまう悪循環に陥っていました」と悩みを明かしました。リフレッシュ方法は「やりたいことをすぐやる」ことだが、気分転換をしすぎ、そちらに費やす時間の方が長くなってしまいうこともあるといいます。

作品を通じては「まんまだな」と言われることが多いとカレー沢さんは語り、自身のリアルな日常が読者に伝わっているようです。

『なおりはしないが、ましになる』誕生秘話と診断がもたらした変化

制作のきっかけとなったのは、自身の発達障がい診断。会社を辞め専業漫画家になった頃、時間が増えたはずなのに仕事が進まず、家のことも手につかない状況に気づき、知り合いから発達障がいの話を聞いたことが受診のきっかけになったといいます。「遠方から都内のクリニックに通院することになったので、それなら漫画のネタにしようと思ったのが始まりです」。



第2集16章より



カレー沢薫さん

漫画家、コラムニスト。約15年前に漫画家としての活動を開始。自身の発達障がいをテーマにしたエッセイ漫画『なおりはしないが、ましになる』(小学館)(現在4集)を執筆。個性を生かした独自の視点と表現で、読者の共感を呼んでいる。

作品一覧
https://www.shogakukan.co.jp/author/10177

診断を受ける前は、「生きづらさ」を感じることが多かったと振り返ります。学生時代は大きな問題はなかったものの、会社に入って協調性が求められると、それが難しいことで問題が発生。人に迷惑をかけていると自己肯定感が下がり、人

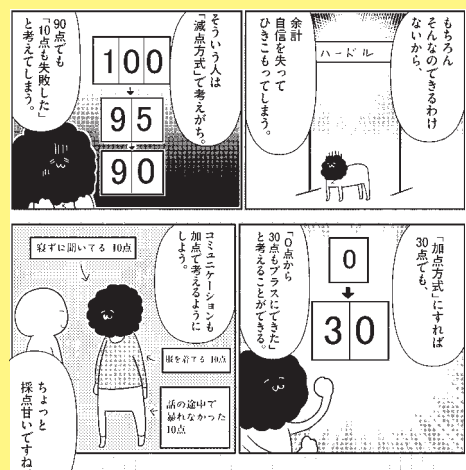


第2集19章より

さを抱えるカレー沢さんは、環境を整えることが重要だと語ります。例えば、集中力を削いでしまうスマホは手の届く範囲に置かないなど。しかし、「環境を整えること自体にも意志が必要で、自分一人で取り組むと甘くなりがちです」と率直な胸の内を語りました。

また、体力のある午前中は集中しやすく、しかし、疲労すると集中力が著しく低下するといいます。発達障がいの特性上疲れやすいため、「休憩は15分」などルール化してしっかり休息が取れるように試行錯誤中と話します。「集中力の低さはマイナスに影響しがちですが、この特性だから漫画家になれたとポジティブに受け止めるようにも考えています」と、自身の特性と向き合っている姿勢を示しました。

担当編集の方は、「カレー沢先生はエッセイの才能が本当に素晴らしいんで



第4集47章より

『障がい当事者も、ご家族の方も、様々な不安を抱えていると思います。私も未だに不安を感じています』と、カレー沢さん。『できないことは確かに苦手ですが、発達障がいの特性として向き不向きは大きく影響します。無理に困難に立ち向かうとストレスで病気になるってしまいうこともあるので、少し自分に甘く、できることに目を向けるのが良いのではないかと思います。親御さんもお子さんに



第4集50章より

対して、できないことを人並みにする視点だけでなく、できることを伸ばす視点も持つことが大切なのではないかと思っています」と語ります。

「私の場合、自分にできる仕事を見つけたのはすごく運がいいことだと思っています」。会社勤めではうまくいかなかったことも多かったものの、漫画家として10年以上活動できており、会社に行っていた時よりストレスなく働けていると感じているそうです。そして、「もちろん、読者の方があってこそその仕事ですが、自身の特性と上手く付き合ひながら、自分だからこそ描ける物語をこれからも届けていきたいです」と語ります。



特性と向き合うための工夫と、創作への影響

仕事のメリハリをつけることの難し



1名様

PRESENT

カレー沢薫著

『なおりはしないが、ましになる第1集』(小学館、2021)サイン入り本

詳しくはP.31

セサミストリーットの絵本がスタート！VOL.3

「みんなステキ！1、2、3！」

本誌からぜひご覧ください！

本誌の購読方法

広報誌「メルディア」購読フォームよりお申し込みください

▼フォームはこちら
<https://mlda.jp/subscription/>





M Size
はじめり
~Again~
VOL.69

温もりをくれた姉の存在: 家族の絆と障がいへの理解

シンガーソングライター 水越けいこ

長姉との暖かな思い出が「蘇る」
墓参り

お盆より少し前の事、一番上の姉のお墓参りに行ってきました(以下、長姉)。生前、長姉夫婦は日野市で暮らしていたので、先に亡くなった義兄と一緒のお墓は、そこから近い八王子にあります。八王子と言っても、インターチェンジを降りてから車で30分も走った場所なので、東京都とは思えない位に自然が豊かで、まるで絵画のように美しい池などもあり、訪れる度に心穏やかになります。そして同時に、長姉をはじめ、家族との沢山の思い出が頭を過ぎります。

息子を巡る、
姉たちとの温かい交流

長姉と私は、20歳も歳が離れていて、母親を早くに亡くした私にとって、長姉はお母さんのような存在でした。息子の麗良が産まれた時、両親は他界していましたが、姉や兄は、全員が元気だったので、皆に祝福して貰いました。特に長姉は、格別に喜んでくれていた事を思い出します。

後にすぐ、息子がダウン症を持って生まれた事を、親族全員が知る事になるのですが、その時も、長姉は常に温かい言葉を掛けてくれました。そして長姉を筆

頭に、家族皆が心配してくれたり、励ましてくれたり、時にはダウン症に関してのあれこれを教えてくれたり、沢山の愛情を貰いました。

私はもうすっかり大人になっていたわけですが、姉や兄から見れば、私はずっと末っ子のままなのでしょう。家族の頼もしさとありがたさを、改めて感じたことを今でも覚えています。

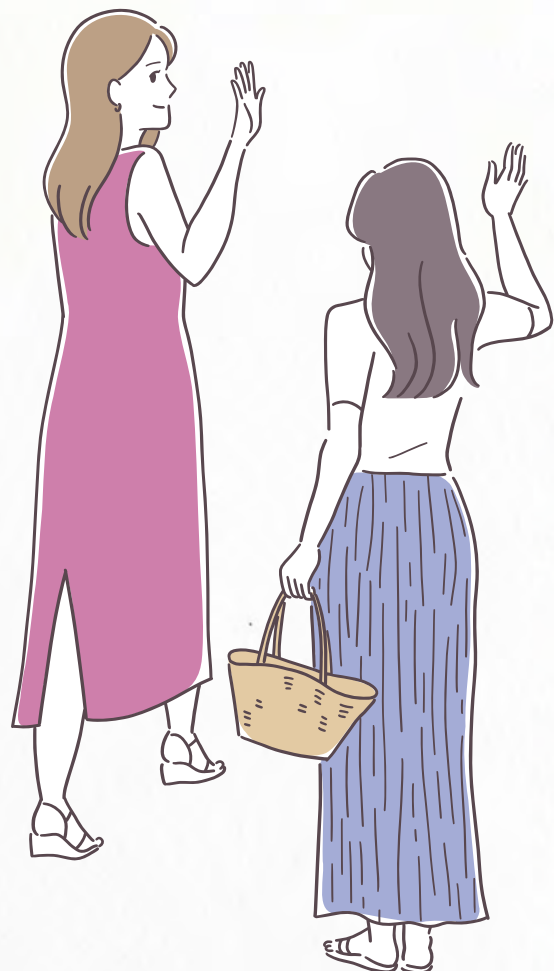
当時、というか現在でもそうなのですが、私の親族にとって、身内に障がいを持つ子供が存在するという事は、麗良の誕生が初めての事でした。その理由もあり、親族が障がいに関して、全く詳しくなかった事も事実です。言い換えれば、私達親族は、麗良が生まれてくれたからこそ、障がいという別世界だったエリアの現実、そして誤解、また、健常とは

あり得るのか、もつと言えば、人はどう生きるべきかなど、より心の奥の自分と対話が出来るようになったと思います。そう、いつかの長姉が目を細めて微笑み「麗くんは本当に天使みたいだね」と、たった一言、私に言いました。その優しい言葉には、親族全ての愛情が詰まっていた気がします。

またある時、段ボールで宅配便が届きました。長姉からでした。私はとても嬉しくて、リビングまで持っていく時間も勿体いなく、子供のように思わず玄関で段ボールを開けました。中に入っていたのは、麗良のシャツや短パン(ちよっと大きい?)と、お餅などの食べ物でした。長姉は、80歳を過ぎても、まだこうして妹の私を気にかけてくれる、そう思うと、自然に涙が溢れ、泣いてしまいました。麗良が生まれた時もそうでしたが、ずっと時を経たその時でも、長姉からすれば、私はずっと幼い末っ子のままだったのでしょう。麗良を可愛いと思ってくれていたのでしょう。長姉が亡くなるおおよそ1年前の出来事でした。

お墓終いと、息子の成長を願う
姉への想い

この度のお墓参りは、山梨県の道志村(私の故郷です!)に住む、下から2番目の姉夫婦と私の3人で行ってきました。



平日だったので麗良は作業所でお仕事です。お墓参りのスケジュールが急遽決まったのは、長姉の二人の娘(私の姪たち)の生活圏が、関東から離れる事になりました。二人が両親のお墓を仕舞うと決めたからです。私としては、2度目のお別れのように寂しい気持ちがありますが、こればかりは仕方がありませんね。長姉夫婦もきつと解ってくれるでしょう。

ところで、いつかの長姉は、麗良に何故大きめの衣類を送って来たのでしょうか? 後に考えてみたのですが、きっと長姉は、麗良が一般的な青年のように、大きく逞しくなっている、と想像したのではないでしょう。

お姉ちゃん。麗良は元気になったけど、背丈はそんなに大きくないですよ! これからも、どうか見守って下さいね!

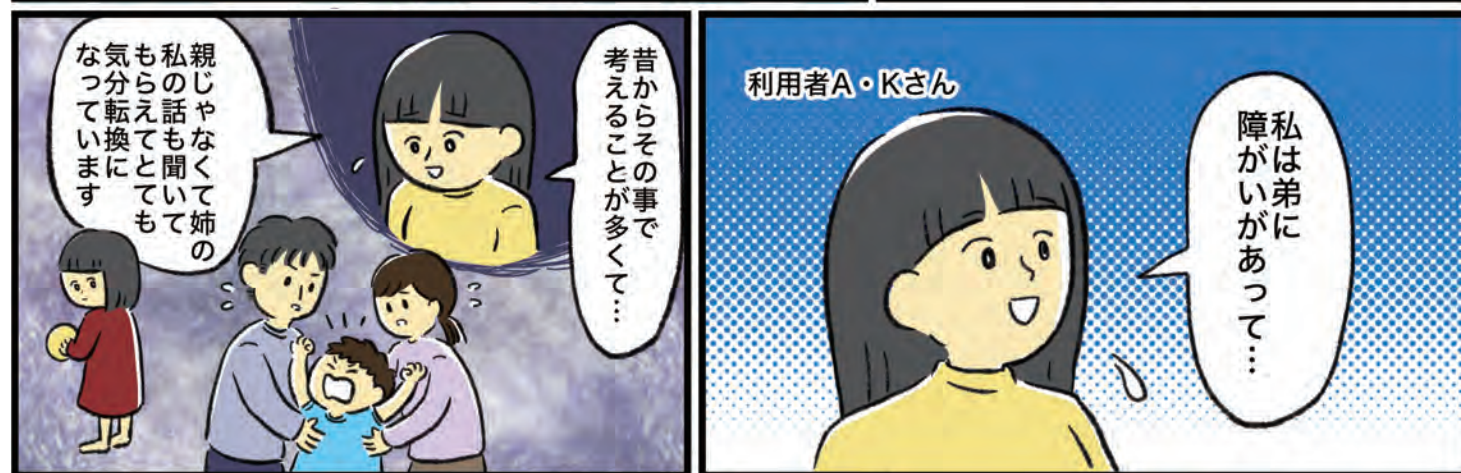
水越 けいこ

シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を行っている。

<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



メルディアは悩みを抱えるご家族に 寄り添いながらサポートします。

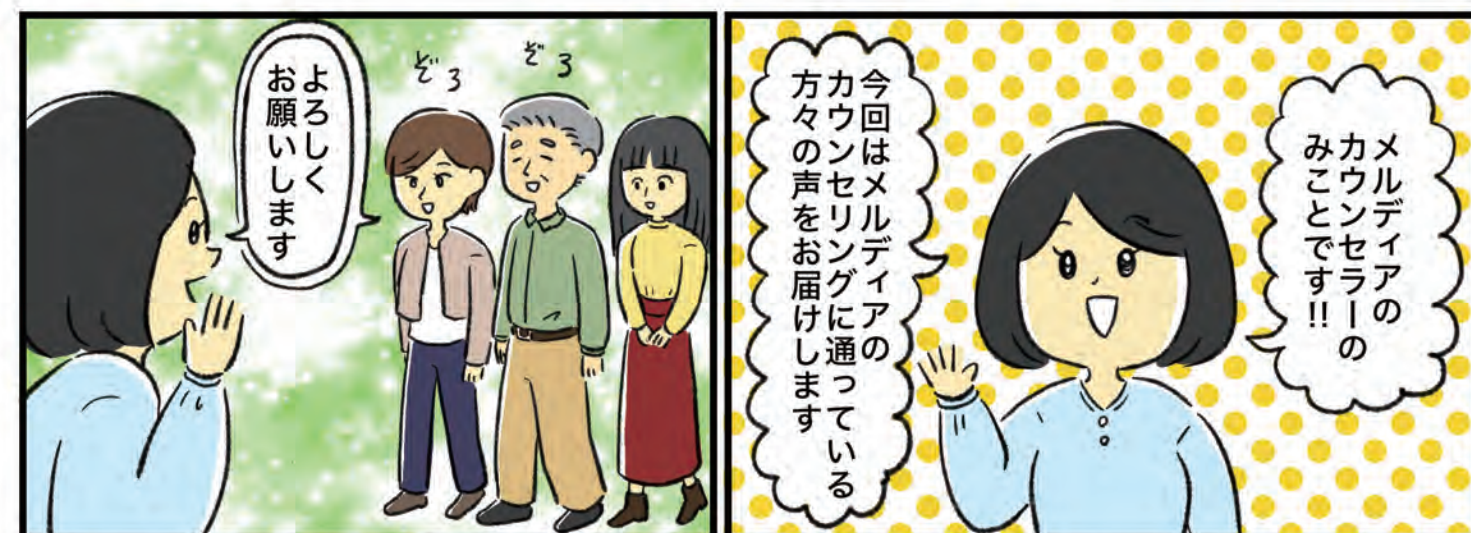


あなたのお悩みを聞かせてください

小さな悩みや人には話にくいと思い、しまい込んでいる悩みはありませんか？
ちょっとしたことも人に話すと気持ちがスッと軽くなることもあります。
些細な事でもぜひ一度メルディア ウェルネスにお問い合わせください。



志士ノ まる フリーランスデザイナーの他、イラストレーターや漫画家として活躍するシングルマザー。長男のリュウくんは自閉症であり、軽度知的障がいでもある。まる著『シンママのはじめて育児は自閉症の子でした』(KADOKAWA、2022年)好評発売中。



川越

VOL.1

時の鐘が響く小江戸・川越へ！風情ある蔵造りの街並みを着物で散策し、大正ロマンに浸れば、日常を忘れる特別な時間が流れます。美味しいグルメや可愛いおみやげも満載です。

おさんぽ DE 楽しむ！

着物を着て、「小江戸」な雰囲気が魅力な川越を楽しもう！



趣きのある街中で
ゆったり散策を

江戸時代には「小江戸」として栄えた川越は、今もその面影を色濃く残す歴史と情緒あふれる街です。時の鐘が響く街並みは、タイムスリップしたような雰囲気を味わうことができます。お出かけにぴったりの場所で、歴史ある建物や神社を巡りながら、美味しいものを食べた、可愛いお土産を見つけた。着物を着て街を歩けば、まるで映画の主人公になったような特別な気分を味わえます。なんととっても漆黒の蔵が軒を連ねる蔵造りの街並みは、川越のシンボルの存在です。重厚な建物の中には、今どきのおしゃれなスイーツ店やお土産屋さんが見事に入り混じり、新旧が織りなす心地よい空間が広がっています。また、川越の名物である「サツマイモ」を使ったグルメは必見！サツマイモは川越市の特産品であり、サツマイモの収穫を祝う神事として「献芋式」が行われるほど、地域に深く根ざした文化となっています。います。好奇心をくすぐる発見がいっぱいの川越で、とっておきの休日をお過ごしませんか？



詣

縁結び・厄除けに
ご利益のある
川越熊野神社

和歌山の熊野本宮大社から御分霊を祀った由緒ある神社。足ツボを刺激する健康ロードなど、遊びながらお参りできる仕掛けも魅力で、小さなお子さんから大人まで楽しめる場所です。



川越熊野神社

社紋の八咫鳥が特徴の神社。たくさん種類のおみくじと足踏み健康ロードなど、ぜひ立ち寄って体験してみてください。
<https://www.kawagoekumano.jp/>



食

大正時代に
タイムスリップ！
大正浪漫夢通り

大正時代の雰囲気や漂うレトロな通りで、散策するだけでも気分アップ。おしゃれなカフェや昔ながらのお店が並んでいるので、食べ歩きをしたり、お土産を探したりしながら、非日常の時間を満喫できます。



食べ歩きはもちろん、美味しそうなカフェやおしゃれなアクセサリー店が並ぶ通りを満喫♪

歩

小江戸情緒あふれる散策路
蔵造りの街並みと
時の鐘

重厚感のある蔵造りの建物が並ぶ、川越のシンボリックなスポット。歴史を感じる街並みを眺めながら、名物の食べ歩きグルメを楽しめます。遠くからでも聞こえてくる「時の鐘」の音色も、街歩きを風情を一層引き立ててくれます。



フォトジェニックな写真が撮れる、小道や小物にも気分が高まる！

漆黒の蔵が並ぶ、
川越のシンボリック存在！



普段とは違う装いで美味しいグルメやお土産探しも満喫♪

おしゃれなカフェで一休み。
懐かしい味に出会えるかも



川越芋は江戸時代から
続く名物。今回は焼きたて
ホクホクの焼き芋。



古い建物が続く通りは、着物で
歩くのにもぴったり。

鐘の音は
川越の街に
欠かせない
風物詩





A 3名様 エハラマサヒロ、大村亮介著 「新米パパも子育てが楽しくなる 笑みある家のつくりかた」(2025) サイン入り本	B 1名様 サイン入り葉っぱ切り絵ポスターカード5枚セット	C 1名様 アクリルキーホルダー&スタンドセット	D 1名様 『葉っぱ切り絵カレンダー2026 小さな森の春夏秋冬54の物語』(講談社)	E 5名様 黒田武志著 「私たちは地域の社会課題をビジネスで解決したい700の自治体と創る『環福連携モデル』」(アスコム、2025)	F 6名様 Luminifini RG オリジナル ミニートバッグ
G 1名様 このぶチャンネル オリジナルペンポーチ	H 1名様 『なおりはしないが、ましになる第1集』(小学館、2021) サイン入り本	I 2名様 香り袋セット	J 1名様 ※画像はイメージです 電子メモパッド 画面:12インチ、本体:約184g、付属品:ペン、ボタン電池(CR2025) 削除ロック機能搭載	K 1名様 ※画像はイメージです 色鉛筆50色セット	L 1名様 ※画像はイメージです ASKA 水筒 (ネイビー&ターコイズ) 容量:500ml、保冷・保温、付属品:ストロー

応募方法



左のQRコード※から必要事項をご記入の上、ご応募ください。
当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

10月31日 (金) 締切



vol.69 MELDIA 2025 SEP.

発行元／一般財団法人 メルディア

広報誌MELDIA Vol.69／2025年9月25日発行

本誌の無断転載・複製を禁じます。
2017-2025©All Rights Reserved.

一般財団法人 メルディア／広報誌MELDIA

無料定期購読の
お申し込みは
こちらから



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



次号予告

MELDIA vol.70
2025年11月25日 発行予定



一般財団法人 メルディア
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-22
セキサビル7F
一般財団法人 メルディア
TEL:03-6302-1871

お問い合わせはこちら



〒169-0072
東京都新宿区大久保
2-5-22セキサビル7F
一般財団法人
メルディア 宛て
TEL : 03-6302-1871
MAIL : org@mlda.jp

ホームページ

一般財団法人 メルディアの
ホームページでは当財団の
取り組みやイベント情報を掲
載しています。X(旧Twitter)
では湘南ベルマーレ観戦チ
ケットプレゼントやスポーツ
支援情報を発信しています。
是非、ご覧ください。

X(旧Twitter)

https://x.com/gf_meldia

ホームページ

<https://mlda.jp>



一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

MELDIA
つなぐ

小江戸

川越

VOL.2

手作り
川越氷川神社「いもみくじ」を
引いてみよう！

川越氷川神社で出会える、ちよっぴりユニークで温かい「川越いもみくじ」をご存知ですか？
障がいのある方々が心を込めて一つひとつ手作りしているこの可愛らしいおみくじは、
川越市の「川越華の日」にちなんだ地域に根ざした特別な授与品です。

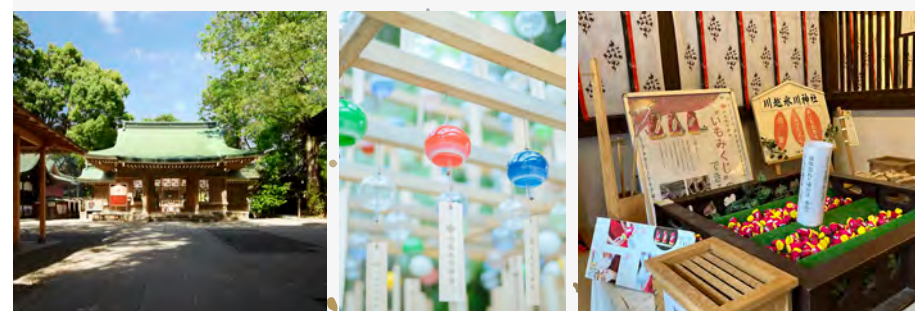


作っているのは 社会福祉法人皆の郷 第3川越いも子作業所の皆さん。

牛乳パックから手すき紙製品を作ったり、地元特産のさつまいもを使ったクッキーなどのお菓子を作っている事業所。いもみくじの材料もこの牛乳パックの手すき技術から生まれました。
東田町と寿町の2か所で活動しており、障がいのある仲間たちがそれぞれの得意を活かして、日々作業に取り組んでいます。<http://www.d3imonoko.jp/>

東田町事業所 〒350-1114 埼玉県川越市東田町1-5

寿町事業所 〒350-1116 埼玉県川越市寿町1-2410-1



「川越いもみくじ」は、通常のおみくじに加えて、サツマイモに関する知識や川越の観光情報が書かれたいもみくじ番外編がもらえる、一石二鳥のお得なおみくじ。おみくじの引き方にもこだわりがあり、芋掘りから発想しザルや鍬をイメージした道具を使って引き当てます。製作には粘土作りから成形、色塗り、研磨など、たくさんの方の工程を経て完成します。川越いも子作業所の皆さんはそれぞれ得意な作業を担当し、みんなで協力して作り上げる喜び、そして自分たちが作ったおみくじが実際に多くの人の手に渡っているという達成感が、彼らの大きなモチベーションになっています。以前は外作業を好んでいた方も、「川越いもみくじ」作りを始めてからもの作りに興味を持つようになったという嬉しい変化も。

このおみくじは、約2年前から始まり、1日に約140体奉製されています。地域社会の一員として活躍する作業所の皆さんの温かい想いが込められた「川越いもみくじ」。川越を訪れた際には、ぜひ手に取って、その温もりと、関わる全ての人々の笑顔を感じてみてください。

2名様 PRESENT



香り袋セット

詳しくはP.31

おみくじを張り子の中に詰めて、そこにテープを貼って完成！

完成♪



一枚一枚心を込めて

一つ一つ心を込めておみくじを折りたたんでいく。

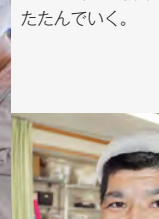
一つひとつ丁寧に形作り

30gずつ計量し、サツマイモの形に成形。大きさの目安に線が書かれている。



個性豊かなデザイン

粘土の乾燥後、さつまいもみの皮の紫と、中身の黄色を色塗り。



個性豊かなデザイン

粘土の乾燥後、さつまいもみの皮の紫と、中身の黄色を色塗り。



TOKYO HACHIOJI BEE TRAINS



八王子
ビートルインズ
公式サイト

<https://trains.co.jp/>

子どもたちに夢と未来を!

—誰でも平等に夢を持ち、叶えることができる—

プロバスケットボールチーム東京八王子ビートルインズ

メルディア購読者様限定招待

会場
エスフォルタアリーナ八王子(メイン)

詳細は特設ページをご覧ください
<https://trains.tstar.jp/cart/events/56966>



9月26日(金) 19:20TIP OFF 9月27日(土) 15:00TIP OFF VS アースフレンズ東京Z	11月8日(土) 17:30TIP OFF 11月9日(日) 13:00TIP OFF VS ヴィアティン三重	12月12日(金) 19:00TIP OFF 12月13日(土) 14:00TIP OFF VS 東京ユナイテッドバスケットボールクラブ	12月18日(木) 19:20TIP OFF 12月19日(金) 19:20TIP OFF VS 立川ダイス
---	---	--	--

©TOKYO HACHIOJI BEE TRAINS/Photo:Tomonori Hoshi

夢を追う背中に、エールを。

湘南ベルマーレTIMES

湘南ベルマーレ ホームゲーム

観戦チケット プレゼント

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、同行者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待します。

本ページにて募集の「湘南ベルマーレホームゲーム観戦チケットプレゼント」についてはリーグおよび、クラブの発表情報に合わせ、以下のURLにて詳細を随時お知らせいたします。

一般財団法人 メルディア HP
<https://mlda.jp>



本気のプレーに、応援のチカラを。

若き選手たちを、全力で支えていく。

